



県内初の選定 郡山市が「SDGs 未来都市」 に選定されました

令和元年 7月 1日
郡山市政策開発部
政策開発課
担当：高橋 雅彦
TEL：924-2021

2019年度の「SDGs 未来都市・自治体SDGsモデル事業」に応募していましたが、県内で初めて「SDGs 未来都市」に選定されました。

なお、選定証授与式は、下記のとおり開催されます。

また、未来都市選定に伴う市長コメントは別紙のとおりです。



- 1 日 時 7月1日(月) 午後2時～午後2時15分
- 2 会 場 総理官邸(東京都千代田区永田町)
- 3 出席者 安倍晋三内閣総理大臣、品川萬里市長 外「SDGs 未来都市」選定団体代表者等
- 4 授与式の写真データ提供は、7月1日(月)午後7時頃を予定しておりますので必要な場合は事前にお申し出ください。
- 5 郡山市の「SDGs 未来都市」についての取り組みについては市ウェブサイトに掲載しています。
- 6 詳細については「内閣府地方創生推進事務局ウェブサイト」をご覧ください。



※このQRコードから各ウェブサイトへアクセスできます。



【SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)】

2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の17の開発目標。

すべての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に取り組むもの。

【SDGs 未来都市】

国が自治体による達成に向けた取組の提案を公募し、未来を見据えた独自性の高い、優れた取組を提案する都市を「未来都市」として選定する。

2018年度から開始し、3年間で90都市程度(毎年度30都市程度)を選定予定。

【自治体SDGsモデル事業】

「SDGs 未来都市(30都市)」のうち、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として10事業選定。

「自治体SDGsモデル事業」に対し、国から最大3千万円の補助金が交付される。

▼事業実施経費：上限1千万円(定率補助：1/2)

▼普及啓発等経費：上限2千万円(定額補助)

【「SDGs 未来都市計画」「郡山市SDGs推進ビジョン(案)」の作成】

今後、SDGs 未来都市選定に伴う「SDGs 未来都市計画」と本市におけるSDGs推進のための基本的な指針となる「郡山市SDGs推進ビジョン(案)」を作成予定

「SDGs 未来都市」の選定に係る郡山市長コメントは
以下のとおりです。

郡山市長コメント

このたび、「SDGs 未来都市」の仲間入りをさせていただき、大変光栄に存じます。

今後は、政府の御指導のもと、市民の皆様とともに「全世代健康都市圏」創生を目指すとともに、その理念を「こおりやま広域圏」にも広げてまいります。

問い合わせ：郡山市政策開発部政策開発課 高橋（雅）

電話：024-924-2021

永田クラブ、経済研究会へ資料配布

令和元年7月1日
内閣府地方創生推進室

令和元年度「SDGs未来都市」等の選定について

令和元年度「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」について、令和元年7月1日に下記のとおり選定いたしますのでお知らせします。

また、同日に令和元年度「SDGs未来都市」選定証授与式を開催いたします。

記

SDGs未来都市：31 都市
自治体SDGsモデル事業：10 事業

以上

(添付資料)

- 別紙1 令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について
- 別紙2 令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業選定都市一覧
- 別紙3 令和元年度 自治体SDGsモデル事業の概要
- 別紙4 地方創生に向けたSDGsの推進について

本件問合せ先：

内閣府地方創生推進室

参事官 遠藤 健太郎

参事官補佐 庄子 純哉

参事官補佐 清水 拓哉

電話：03-5510-2175

FAX：03-3591-8801

令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について

概要

中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、地方創生に資する、地方自治体による持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組を推進していくことが重要。

地方創生分野における日本の「SDGsモデル」の構築に向け、引き続き、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として31都市を選定。また、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として10事業を選定する。※平成30年度においては「SDGs未来都市」として29都市を選定。「自治体SDGsモデル事業」として10事業を選定。これらの取組を支援するとともに、成功事例の普及展開等を行い、地方創生の深化につなげていく。

「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」における取組(令和元年度選定)

SDGs未来都市(31)

①自治体のSDGs推進のための取組

②SDGs達成に向けた事業の実施

自治体SDGsモデル事業(10)

上限3千万円/都市 定額補助 上限2千万円
定率補助(1/2)上限1千万円

- ①経済・社会・環境の三側面の統合的取組による相乗効果の創出
- ②多様なステークホルダーとの連携
- ③自律的好循環の構築

自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる省庁横断的な支援

計画策定

- 選定都市の事業計画策定への支援
- 各省庁支援施策の積極的な活用等

事業実施

- 各省庁支援施策を選定都市に集中投入
- 取組状況フォローアップの評価基準作りへの参画

成功事例の普及展開

選定都市の成功事例を国内外へ情報発信

- ・イベントの開催
- ・幅広い世代向けの普及啓発事業等

2030年

持続可能なまちづくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業選定都市一覧

緑字：SDGs未来都市（自治体SDGsモデル事業含む）
 青字：SDGs未来都市

※県が選定されている場合は県全域を着色。



	都市名	提案タイトル
自治体SDGsモデル事業含む	福島県郡山市	SDGsで「広め合う、高め合う、助け合う」こおりやま広域圏～次世代につながる豊かな圏域の創生～
	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造
	新潟県見附市	住んでいるだけで健康で幸せになれる健康都市の実現～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着～
	富山県南砺市	「南砺版エコレレッジ事業」の更なる深化～域内外へのプランニング強化と南砺版地域循環共生圏の美装～
	福井県鯖江市	持続可能なめがねのまちさばえ～女性が輝くまち～
	京都府舞鶴市	便利な田舎くらし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる“未来の舞鶴”』
	岡山県西粟倉村	森林ファンドの活用で創出するSDGs未来村
	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした災害に強い持続可能なまちづくり
	鹿児島県大崎町	大崎リサイクルシステムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
	沖縄県恩納村	SDGsによる「サンゴの村宣言」推進プロジェクト～「サンゴのむらづくり行動計画」の高度化による世界一サンゴと人に優しい持続可能な村づくり～
SDGs未来都市	岩手県陸前高田市	ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり
	栃木県宇都宮市	SDGsに貢献する持続可能な“うごく”都市・うつのみやの構築
	群馬県みなかみ町	水と森林と人を育む みなかみプロジェクト 2030～持続可能な発展のモデル地域“BR”として～
	埼玉県さいたま市	SDGs国際未来都市・さいたま2030モデルプロジェクト～誰もが住んでいることを誇りに思える都市へ～
	東京都日野市	市民・企業・行政の対話を通じた生活・環境課題産業化で実現する生活価値(QOL)共創都市 日野
	神奈川県川崎市	成長と成熟の調和による持続可能なSDGs未来都市かわさき
	富山県	環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」
	石川県小松市	国際化時代にふるさとを未来へつなぐ「民の力」と「学びの力」～PASS THE BATON～
	愛知県	SDGs未来都市あいち
	愛知県名古屋	SDGs未来都市～世界に冠たる「NAGOYA」～の実現
	愛知県豊橋市	豊橋からSDGsで世界と未来につながる水と緑の地域づくり
	滋賀県	世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現
	奈良県生駒市	いこまSDGs未来都市～住宅都市における持続可能モデルの創出～
	奈良県三郷町	世界に誇る！！人にもまちにもレジリエンスな「スマートシティSANGO」の実現
	奈良県広陵町	「広陵町産業総合振興機構（仮称）」の産官学民連携による安全・安心で住み続けたいまちづくり
	和歌山県和歌山市	持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市
	鳥取県智頭町	中山間地域における住民主体のSDGsまちづくり事業
	鳥取県日南町	第一次産業を元気にする～SDGsにちなんチャレンジ2030～
	福岡県大牟田市	日本の20年先を行く10万人都市による官民協働プラットフォームを活用した「問い」「学び」「共創」の未来都市創造事業
	福岡県福津市	市民共働で推進する幸せのまちづくり～津屋崎スタイル～を世界へ発信
	鹿児島県徳之島町	あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造事業

出典：国土地理院ウェブサイト（<https://maps.gsi.go.jp/>）の白地図をもとに作成

※都道府県・市区町村コード順

令和元年度 SDGs 未来都市選定都市一覧

No.	提案者名	提案全体のタイトル
1	岩手県陸前高田市	ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり
2	福島県郡山市	SDGs で「広め合う、高め合う、助け合う」こおりやま広域圏 ～次世代につなぐ豊かな圏域の創生～
3	栃木県宇都宮市	SDGs に貢献する持続可能な“うごく”都市・うつのみやの構築
4	群馬県みなかみ町	水と森林と人を育む ^{もり} みなかみプロジェクト 2030 ～持続可能な発展のモデル地域“BR”として～
5	埼玉県さいたま市	SDGs 国際未来都市・さいたま2030モデルプロジェクト ～誰もが住んでいることを誇りに思える都市へ～
6	東京都日野市	市民・企業・行政の対話を通じた生活・環境課題産業化で実現する生活価値(QOL)共創都市 日野
7	神奈川県川崎市	成長と成熟の調和による持続可能なSDGs 未来都市かわさき
8	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造
9	新潟県見附市	住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市の実現 ～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着～
10	富山県	環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」
11	富山県南砺市	「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 ～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～
12	石川県小松市	国際化時代にふるさとを未来へつなぐ「民の力」と「学びの力」 ～PASS THE BATON～
13	福井県鯖江市	持続可能なめがねのまちさばえ～女性が輝くまち～
14	愛知県	SDGs 未来都市あいち
15	愛知県名古屋市	SDGs 未来都市 ～世界に冠たる「NAGOYA」～ の実現
16	愛知県豊橋市	豊橋からSDGs で世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり
17	滋賀県	世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現
18	京都府舞鶴市	便利な田舎ぐらし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる“未来の舞鶴”』
19	奈良県生駒市	いまSDGs 未来都市～住宅都市における持続可能モデルの創出～
20	奈良県三郷町	世界に誇る！！人にもまちにもレジリエンスな「スマートシティSANGO」の実現
21	奈良県広陵町	「広陵町産業総合振興機構（仮称）」の産官学民連携による安全・安心で住み続けたいまちづくり
22	和歌山県和歌山市	持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市
23	鳥取県智頭町	中山間地域における住民主体のSDGs まちづくり事業
24	鳥取県日南町	第一次産業を元気にする ～SDGs にちなんチャレンジ2030～
25	岡山県西粟倉村	森林ファンドの活用で創出するSDGs 未来村
26	福岡県大牟田市	日本の20年先を行く10万人都市による官民協働プラットフォームを活用した「問い」「学び」「共創」の未来都市創造事業
27	福岡県福津市	市民共働で推進する幸せのまちづくり ～津屋崎スタイル～を世界へ発信
28	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした災害に強い持続可能なまちづくり
29	鹿児島県大崎町	大崎リサイクルシステムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
30	鹿児島県徳之島町	あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造事業
31	沖縄県恩納村	SDGs による「サンゴの村宣言」推進プロジェクト ～「サンゴのむらづくり行動計画」の高度化による世界一サンゴと人に優しい持続可能な村づくり～

令和元年度 自治体SDGsモデル事業選定都市一覧

No.	提案者名	自治体SDGsモデル事業タイトル
1	福島県郡山市	SDGs 体感未来都市 こおりやま
2	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造
3	新潟県見附市	「歩いて暮らせるまちづくり」ウォークブルシティの深化と定着
4	富山県南砺市	「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 ～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～
5	福井県鯖江市	女性が輝く「めがねのまちさばえ」 ～女性のエンパワーメントが地域をエンパワーメントする～
6	京都府舞鶴市	『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源が つながる“未来の舞鶴”』創生事業
7	岡山県西粟倉村	森林ファンドと森林RE Designによる百年の森林事業Ver.2.0
8	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした地域（防災）力の向上事業
9	鹿児島県大崎町	大崎システムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
10	沖縄県恩納村	「サンゴの村宣言」SDGsプロジェクト

※都道府県・市区町村コード順

「健康」をキーワードに「経済」、「社会」、「環境」において、持続可能なまちづくりに向けた先導的取組を実施。オープンデータを活用した広域医療等の分析（EBPM）及びICTを活用した健康寿命延伸対策（EBM）を進めることで医療・健康産業の集積、健康寿命延伸・医療費抑制、環境負荷の少ない快適な生活環境の確保等を進める。

